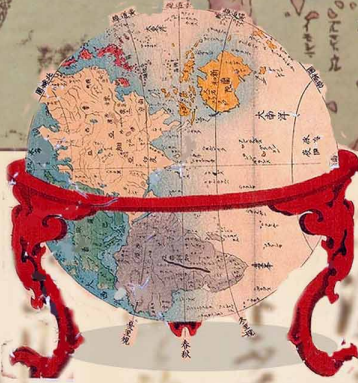


神戸大学附属図書館展示会

東アジアのなかの日本

古地図と文献に見る交流の風景



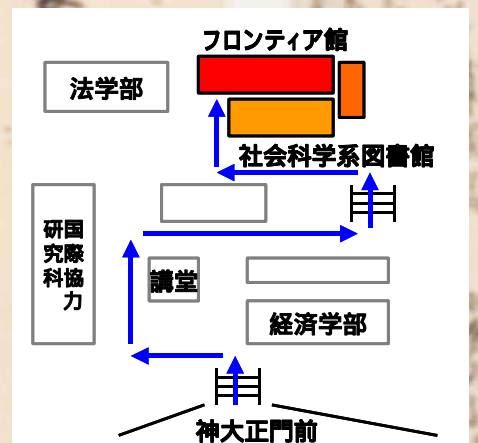
期間 2006年11月10日(金)～17日(金)
月～金 午前11時～午後5時
土・日 午前10時～午後5時

会場 神戸大学社会科学系フロンティア館3階
プレゼンテーションホール
神戸市灘区六甲台町2-1

主催 神戸大学附属図書館 **入場無料**

交通：阪神御影・JR六甲道・阪急六甲の各駅より神戸市バス36系統
神大正門前 下車約5分

問合せ先：神戸大学附属図書館
〒657-8501 神戸市灘区六甲台町2-1
TEL:078-803-5313
<http://www.lib.kobe-u.ac.jp>





東アジアのなかの日本

- 古地図と文献に見る交流の風景 -



現在、神戸大学では教育・研究とならば第三の使命として地域・社会との連携協力にも力を注いでいます。附属図書館では、収集した貴重な資料を地域のみならずにもご覧いただきたいと考え、平成 16 年からささやかながら展示会活動をはじめ、今年で 3 回目となりました。

本年は、神戸大学東アジア Week2006 の共催事業として、「東アジアのなかの日本」をテーマに展示会を開催することとなりました。東アジア地域の古地図を中心に、17 世紀～19 世紀にかけての日本と東アジア諸国との交流の風景を古文書や文献でたどります。

多数の方のご来場をお待ちしております。

展示内容

学内各図書館に所蔵する地図・文書・図書等から約 100 点の資料を展示します。

1. 古地図に見る東アジア

16 世紀～19 世紀の世界地図から東アジア地域の地理学上の変遷がみてとれます。また、中国ならびに朝鮮の地図も展示します。

2. 近世の日本と東アジアの交流

約 200 年の鎖国の間にも、日本は朝鮮・琉球とは外交を、中国とは貿易を行っていました。文書などに残る交流の記録や日本に伝えられた文物・文化を紹介します。

通信・通商の記録と航路 / 朝鮮通信使 - 戦乱から修好へ
漂流と漂着 - 江戸時代の異文化体験

名勝図会から見た北京や琉球 / 東アジアからの贈りもの

3. 東アジアの近代化と日本

東アジアの国々が近代化を目指すなかで、相互の関係も新たに築き上げる必要がありました。

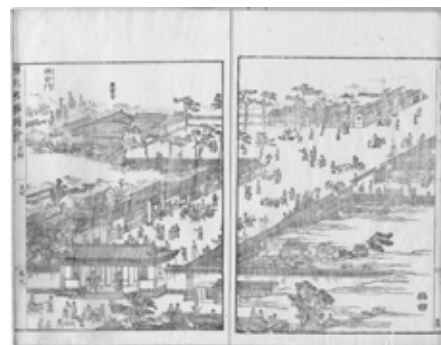
開国によって海外を歴訪することができるようになった日本人が東アジアをどのように見たのか、旅行記や当時出版された書物、教科書や語学教育などを通して紹介します。

アヘン戦争以後の中国と日本 / 日本人の見た東アジア

日本に紹介された東アジア / 明治期の中国語教育

4. 東アジアと神戸

神戸における華僑の活動や孫文関係資料、東シナ海航路の発展と貿易に関する資料を展示します。



「住田文庫」より
『増補華夷通商考』(上)
『唐土名勝図会』(下)



「住田文庫」より「清国南京人遊行横浜拳」

電子展示

「新聞記事文庫」

現在の神戸大学経済経営研究所が明治末期から営々と作成した新聞切抜資料です。戦前期分だけで記事数約 40 万件という膨大な資料です。

附属図書館では、平成 11 年よりデジタル化作業に取り組み、平成 18 年現在約 14 万記事をインターネットを通じ広く公開しています。

新聞記事文庫 URL : <http://www.lib.kobe-u.ac.jp/sinbun/>

表面は「住田文庫」より

「地球万国山海輿地全図説」(上 天明 8 年)

「万国地球分図」(中 安政 3 年) 「得泰船浦触写」(下 文政 9 年)

「住田文庫」

住田正一氏の寄贈になる、慶長から明治初期に至る海事海運関係資料群で、当館を代表する貴重コレクションです。デジタル化作業は平成 7 年度から進められ、平成 18 年現在 120 点がデジタル資料として自由に閲覧していただけます。

その他、清末から中華民国初期にかけて、孫文などの革命派を支援した神戸華僑・王敬祥氏に係る一連の資料群「王敬祥関係文書」のデジタル版もご覧いただけます。

神戸大学東アジア Week2006 URL :
<http://www.kobe-u.ac.jp/eastasia-week/>